

第 8 公営企業会計の状況

地方公営企業とは、地方公共団体が、公共の利益を目的として経営する企業です。熊本県では、電気事業、工業用水道事業、有料駐車場事業、病院事業の 4 事業を経営しています。

地方公営企業における決算は、一般会計と同様に一会計年度の歳入歳出予算の執行実績について作成され、一事業年度における事業の経営成績及び財政状況を明らかにするための会計手続きです。

平成 30 年度（2018 年度）公営企業会計の決算については、令和元年（2019 年）9 月熊本県議会定例会に提出しました。

第8 公営企業会計の状況

1 電気事業

平成30年度決算の概要

○事業の概要

電気事業は、市房第一、市房第二、緑川第一、緑川第二、笠振、菊鹿及び緑川第三の7水力発電所と阿蘇車帰風力発電所によって、九州電力株式会社へ電力を供給しました。

○電力の供給状況

8発電所（7水力、1風力）による最大出力の合計は5万5,100kWで、平成30年度における総供給電力量は1億2,704万4,374kWhとなりました。

(単位：kWh、%)

年度 発電所名	平成29年度	平成30年度			対前年 度比
	実績供給電力量	目標供給電力量	実績供給電力量	達成率	
市房第一	44,960,958	7,947,000	9,359,372	117.8	20.8
市房第二	8,258,606	1,422,000	1,538,584	108.2	18.6
緑川第一	66,419,780	67,052,000	71,158,242	106.1	107.1
緑川第二	37,748,840	34,624,000	35,994,956	104.0	95.4
笠 振	3,507,338	4,041,000	3,678,120	91.0	104.9
菊 鹿	3,031,000	3,023,000	2,981,100	98.6	98.4
緑川第三	1,893,700	1,771,000	1,754,500	99.1	92.6
阿蘇車帰	706,980	962,768	579,500	60.2	82.0
合 計	166,527,202	120,842,768	127,044,374	105.1	76.3

○経営の状況

事業収益は、水力発電電力料収入11億7,881万円（対前年度比80.9%）と風力発電電力料収入1,102万円（対前年度比82.0%）に、雑収益531万円と負担金収益36万円を合わせた営業収益が11億9,550万円（対前年度比81.0%）、営業外収益が5,057万円（対前年度比89.3%）の合計12億4,607万円（対前年度比81.3%）となりました。

事業費は、営業費用が14億7,792万円（対前年度比111.8%）、営業外費用が1,450万円（対前年度比76.8%）、特別損失が9,340万円（対前年度比46.1%）で、合計15億8,582万円（対前年度比102.7%）となっており、事業収支では3億3,976万円の純損失を生じています。

資本的支出では、企業債償還等の他、市房第一発電所水車発電機更新等の改良工事や荒瀬ダム関連事業を行いました。

○損益計算書(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

(単位:千円)

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
営業費用	1,477,924	営業収益	1,195,500
(1)市房発電所	355,282	(1)水力発電電力料	1,178,806
(2)緑川発電所	316,946	(2)負担金収益	358
(3)笠振発電所	74,873	(3)雑収益	5,309
(4)菊鹿発電所	46,132	(4)風力発電電力料	11,027
(5)緑川第三発電所	27,753		
(6)発電総合管理所	322,718		
(7)一般管理費	282,663		
(8)阿蘇車帰風力発電所	51,555		
		営業損失	282,425
営業外費用	14,503	営業外収益	50,566
(1)支払利息	14,502	(1)受入利息	1,735
(2)雑支出	1	(2)雑収益	8,220
(3)雑損失	0	(3)補助金	13,432
		(4)長期前受金戻入	27,179
		経常損失	246,361
特別損失	93,403		
(1)固定資産売却損	950		
(2)その他特別損失	83,433		
(3)荒瀬ダム関連費用	9,020		
		当年度純損失	339,764
		前年度繰越利益剰余金	0
		その他の未処分利益剰余金変動額	
		当年度未処理欠損金	339,764

(注)本表は消費税及び地方消費税抜きの数値。

○貸借対照表(平成31年3月31日現在)

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 及 び 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
1 固 定 資 産		3 固 定 負 債	
(1) 有 形 固 定 資 産		(1) 引 当 金	
イ 水 力 発 電 設 備	13,182,954	イ 退 職 給 付 引 当 金	417,324
減 価 償 却 累 計 額	▲ 9,127,526	ロ 特 別 修 繕 引 当 金	203,296
ロ 業 務 設 備	468,698	(2) 企 業 債	
減 価 償 却 累 計 額	▲ 214,832	イ 建 設 改 良 等 の 企 業 債	2,630,431
ハ 風 力 発 電 設 備	444,369	固 定 負 債 合 計	3,251,051
減 価 償 却 累 計 額	▲ 308,222		
ニ 事 業 外 固 定 資 産	3,078	4 流 動 負 債	
減 価 償 却 累 計 額	0	(1) 未 払 金	385,814
ホ 建 設 仮 勘 定	1,880,376	(2) 未 払 費 用	122,532
ヘ 荒 瀬 ダ ム 仮 勘 定	4,692,112	(3) 預 り 金	21,101
有 形 固 定 資 産 合 計	11,021,007	(4) 前 受 金	19,527
		(5) 企 業 債	
(2) 無 形 固 定 資 産		イ 建 設 改 良 等 の 企 業 債	111,857
イ 水 力 発 電 設 備	106,780	(6) 引 当 金	
ロ 業 務 設 備	17,096	イ 賞 与 引 当 金	39,463
ハ 風 力 発 電 設 備	961	ロ 修 繕 引 当 金	50,831
ニ 事 業 外 固 定 資 産	0	流 動 負 債 合 計	751,126
無 形 固 定 資 産 合 計	124,837		
		5 繰 延 収 益	
(3) 投 資		(1) 長 期 前 受 金	859,629
イ 長 期 貸 付 金	265,554	(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 (借 方)	▲ 509,763
投 資 合 計	265,554	繰 延 収 益 合 計	349,867
固 定 資 産 合 計	11,411,398	負 債 合 計	4,352,044
2 流 動 資 産		6 資 本 金	
(1) 現 金 預 金	4,904,045	(1) 自 己 資 本 金	9,949,525
(2) 営 業 未 収 金	101,718	資 本 金 合 計	9,949,525
(3) 営 業 外 未 収 金	101,179		
(4) 前 払 金	432,335	7 剰 余 金	
(5) 前 払 費 用	0	(1) 資 本 剰 余 金	
(6) 雑 流 動 資 産	0	イ 補 助 金	8,468
流 動 資 産 合 計	5,539,277	ロ 受 贈 財 産 評 価 額	449
		ハ 雑 資 本 剰 余 金	189
		ニ 荒 瀬 ダ ム 関 連 交 付 金 等	1,446,429
		資 本 剰 余 金 合 計	1,455,534
		(2) 利 益 剰 余 金	
		イ 減 債 積 立 金	0
		ロ 利 益 積 立 金	358,968
		ハ 中 小 水 力 発 電 開 発 改 良 積 立 金	109,475
		ニ 建 設 改 良 積 立 金	1,064,893
		ホ 当 年 度 未 処 理 欠 損 金	▲ 339,764
		利 益 剰 余 金 合 計	1,193,572
		剰 余 金 合 計	2,649,106
		資 本 合 計	12,598,632
資 産 合 計	16,950,675	負 債 資 本 合 計	16,950,675

(注)本表は消費税及び地方消費税抜きの数値。

○予算の執行状況

収益的収支

(単位:千円、%)

科 目	平成29年度	平成30年度		(C)／(B)	前年度比 (C)／(A)
	税込決算額(A)	予算額(B)	税込決算額(C)		
事業収益	1,649,695	1,424,776	1,411,283	99.1	85.5
営業収益	1,593,017	1,240,887	1,290,768	104.0	81.0
営業外収益	56,678	183,889	120,515	65.5	212.6
事業費	1,591,927	1,770,720	1,629,209	92.0	102.3
営業費用	1,349,129	1,662,807	1,520,593	91.4	112.7
営業外費用	39,120	14,755	14,502	98.3	37.1
特別損失	203,678	53,158	94,114	177.0	46.2
予備費		40,000		0.0	-
差 引	57,769	▲ 345,944	▲ 217,925	63.0	▲ 377.2

資本的収支

(単位:千円、%)

科 目	平成29年度	平成30年度		(C)／(B)	前年度比 (C)／(A)
	税込決算額(A)	予算額(B)	税込決算額(C)		
資本的収入	879,936	3,813,383	1,835,460	48.1	208.6
企業債	346,000	3,457,199	1,553,000	44.9	448.8
固定資産売却代金	36,212		1,276	-	3.5
他会計からの返還金	265,554	265,554	265,554	100.0	100.0
荒瀬ダム関連交付金等	232,170	90,630	15,630	17.2	6.7
資本的支出	1,723,896	4,239,547	2,052,068	48.4	119.0
建設改良費	1,341,879	3,814,769	1,677,291	44.0	125.0
企業債償還金	116,463	109,224	109,223	100.0	93.8
他会計への繰出金	265,554	265,554	265,554	100.0	100.0
予備費		50,000		0.0	-
差 引	▲ 843,959	▲ 426,164	▲ 216,608	50.8	25.7

(注) 資本的収入額が資本的支出額に不足する額216,608千円は、当年度分消費税及び地方消費税

資本的収支調整額121,843千円、過年度分損益勘定留保資金94,765千円で補てん。

令和元年度上半期の状況

○予算の状況

令和元年度上半期における予算の補正はありません。

(単位:千円)

区分	科目	当初予算額	6月補正予算額	9月補正予算額	計
収益的	収入				
	事業収益 営業収益 営業外収益 計	1,383,928 249,336 1,633,264			1,383,928 249,336 1,633,264
支出	支出				
	事業費 営業費用 営業外費用 特別損失 予備費 計	1,569,977 12,121 5,613,977 40,000 7,236,075			1,569,977 12,121 5,613,977 40,000 7,236,075
資本的	収入				
	資本的収入 企業債 他会計からの返還金 荒瀬ダム関連交付金等 計	6,008,000 265,554 131,552 6,405,106			6,008,000 265,554 131,552 6,405,106
支出	支出				
	資本的支出 建設改良費 企業債償還金 他会計への繰出金 予備費 計	6,626,559 111,858 265,554 50,000 7,053,971			6,626,559 111,858 265,554 50,000 7,053,971

2 工業用水道事業

平成 30 年度決算の概要

○事業の概要

工業用水道事業は、有明、八代及び苓北の 3 工業用水道によって、工場等へ工業用水を供給しました。

○給水の状況

3 施設の給水能力の合計は 6 万 8,360m³/日で、平成 30 年度における契約水量の合計は 1,153 万 6,025m³、基本使用水量は 885 万 5,460m³となりました。

(単位：m³、%)

	平成 29 年度		平成 30 年度	
	契約水量	基本使用水量	契約水量(対前年度比)	基本使用水量(対前年度比)
有明	5,228,260	3,646,350	5,360,060(102.5)	3,778,150(103.6)
八代	3,390,969	2,510,614	3,591,945(105.9)	2,675,110(106.6)
苓北	2,584,020	2,584,020	2,584,020(100.0)	2,402,200(93.0)
合計	11,203,249	8,740,984	11,536,025(103.0)	8,855,460(101.3)

※契約水量：受水企業が使用可能な水量

基本使用水量：受水企業が当面の使用水量として設定した水量で、給水料金の算定基礎となる水量

○経営の状況

事業収益は、営業収益が 6 億 5,245 万円（対前年度比 103.4%）、営業外収益が 3 億 4,982 万円（対前年度比 99.1%）となり、総収益は 10 億 227 万円（対前年度比 101.9%）となりました。

事業費用は、営業費用が 9 億 5,306 万円（対前年度比 102.9%）、営業外費用が 6,206 万円（対前年度比 77.3%）で、合計 10 億 1,512 万円（対前年度比 100.9%）となっており、事業収支では 1,285 万円の純損失を生じています。

資本的支出では、企業債償還等の他、有明工業用水道導水ポンプ場予備発電設備更新等の改良工事を行いました。

○損益計算書(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

(単位:千円)

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
営業費用	953,058	営業収益	652,448
(1)原水及び浄水費	342,513	(1)給水収益	454,963
(2)配水費	892	(2)受託管理収益	196,802
(3)業務費	98,960	(3)負担金収益	538
(4)減価償却費	492,983	(4)雑収益	145
(5)資産減耗費	17,709		
		営業損失	300,609
営業外費用	62,063	営業外収益	349,824
(1)支払利息	61,717	(1)受入利息	148
(2)雑支出	345	(2)雑収益	1,504
		(3)補助金	41,017
		(4)過年度損益修正益	17
		(5)長期前受金戻入	307,138
		経常損失	12,849
		当年度純損失	12,849
		前年度繰越欠損金	4,950,567
		その他未処分利益剰余金変動額	0
		当年度未処理欠損金	4,963,415

(注)本表は消費税及び地方消費税抜きの数値。

○貸借対照表(平成31年3月31日現在)

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 及 び 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
1 固 定 資 産		3 固 定 負 債	
(1) 有 形 固 定 資 産		(1) 他 会 計 借 入 金	11,590,697
イ 工 業 用 水 道 設 備	13,457,674	(2) 受 託 金	
減 価 償 却 累 計 額	▲ 6,501,680	イ 受 託 工 事 金	4,843
ロ 建 設 仮 勘 定	272,336	(3) 引 当 金	
有 形 固 定 資 産 合 計	7,228,330	イ 退 職 給 付 引 当 金	62,890
(2) 無 形 固 定 資 産		ロ 修 繕 準 備 引 当 金	347,727
イ 工 業 用 水 道 設 備	11,143,132	ハ 特 別 修 繕 引 当 金	44,683
無 形 固 定 資 産 合 計	11,143,132	(4) 企 業 債	
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産		イ 建 設 改 良 等 の 企 業 債	2,210,884
イ 長 期 貸 付 金	366,114	固 定 負 債 合 計	14,261,724
固 定 資 産 合 計	18,737,576		
		4 流 動 負 債	
2 流 動 資 産		(1) 未 払 金	90,871
(1) 現 金 預 金	1,441,179	(2) 未 払 費 用	37,918
(2) 未 収 金	92,349	(3) 預 り 金	58,140
(3) 貯 蔵 品	9,194	(4) 前 受 金	31,825
(4) 雑 流 動 資 産	56,000	(5) 企 業 債	
流 動 資 産 合 計	1,598,723	イ 建 設 改 良 等 の 企 業 債	535,760
		(6) 引 当 金	
		イ 賞 与 引 当 金	4,842
		(7) 他 会 計 借 入 金	300,741
		流 動 負 債 合 計	1,060,096
		5 繰 延 収 益	
		(1) 長 期 前 受 金	13,705,469
		(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 (借 方)	▲ 4,076,750
		繰 延 収 益 合 計	9,628,719
		負 債 合 計	24,950,539
		6 資 本 金	
		(1) 自 己 資 本 金	30
		資 本 金 合 計	30
		7 剰 余 金	
		(1) 資 本 剰 余 金	
		イ 国 庫 補 助 金	131,065
		ロ 会 社 負 担 金	204,251
		ハ 受 贈 財 産 評 価 額	447
		ニ 雑 資 本 剰 余 金	335
		ホ 一 般 会 計 補 助 金	13,047
		ヘ そ の 他 補 助 金	
		資 本 剰 余 金 合 計	349,146
		(2) 欠 損 金	
		イ 当 年 度 未 処 理 欠 損 金	4,963,415
		欠 損 金 合 計	4,963,415
		剰 余 金 合 計	▲ 4,614,269
		資 本 合 計	▲ 4,614,239
資 産 合 計	20,336,299	負 債 資 本 合 計	20,336,299

(注)本表は消費税及び地方消費税抜きの数値。

○予算の執行状況

収益的収支

(単位:千円、%)

科 目	平成29年度	平成30年度		(C)／(B)	前年度比 (C)／(A)
	税込決算額(A)	予算額(B)	税込決算額(C)		
事業収益	1,033,894	1,106,349	1,064,198	96.2	102.9
営業収益	681,044	736,817	704,270	95.6	103.4
営業外収益	352,850	369,532	359,928	97.4	102.0
事業費	1,055,723	1,157,321	1,063,692	91.9	100.8
営業費用	948,856	1,056,443	977,269	92.5	103.0
営業外費用	106,867	90,878	86,423	95.1	80.9
予備費		10,000		0.0	-
差 引	▲ 21,829	▲ 50,972	506	△ 1.0	-

資本的収支

(単位:千円、%)

科 目	平成29年度	平成30年度		(C)／(B)	前年度比 (C)／(A)
	税込決算額(A)	予算額(B)	税込決算額(C)		
資本的収入	969,098	1,751,707	989,212	56.5	102.1
企業債		620,000	304,000	49.0	-
長期借入金	531,028	488,706	488,706	100.0	92.0
補助金	176,865	231,281	160,604	69.4	90.8
受託工事金	256,818	403,971	28,153	7.0	11.0
会計内返還金	4,387	7,749	7,749	100.0	176.6
資本的支出	1,106,419	1,879,434	1,167,106	62.1	105.5
建設改良費	372,331	1,006,818	314,492	31.2	84.5
企業債償還金	433,180	551,874	551,873	100.0	127.4
長期借入金償還金	297,380	300,742	300,741	100.0	101.1
補助金返還金	3,528			-	0.0
予備費		20,000		0.0	-
差 引	▲ 137,321	▲ 127,727	▲ 177,894	139.3	129.5

(注)資本的収入額が資本的支出額に不足する額177,894千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額13,355千円、過年度分損益勘定留保資金164,539千円で補てん。

令和元年度上半期の状況

○予算の状況

令和元年度上半期における予算の補正はありません。

(単位:千円)

区分	科目	当初予算額	6月補正予算額	9月補正予算額	計
収益的 収 入	事業収益				
	営業収益	761,551			761,551
収益的 支 出	営業外収益	361,925			361,925
	計	1,123,476			1,123,476
資本的 収 入	事業費				
	営業費用	1,113,130			1,113,130
資本的 支 出	営業外費用	68,774			68,774
	予備費	10,000			10,000
	計	1,191,904			1,191,904
資本的 収 入	資本的収入				
	企業債	198,000			198,000
資本的 支 出	長期借入金	546,399			546,399
	補助金	158,698			158,698
資本的 収 入	受託工事金	205,473			205,473
	会計内返還金	7,749			7,749
	計	1,116,319			1,116,319
資本的 支 出	資本的支出				
	建設改良費	317,200			317,200
資本的 支 出	企業債償還金	535,860			535,860
	長期借入金償還金	300,741			300,741
資本的 支 出	会計内貸付金	0			0
	予備費	20,000			20,000
	計	1,173,801			1,173,801

3 有料駐車場事業

平成 30 年度決算の概要

○事業の概要

有料駐車場事業は、熊本市の中心部に位置する 24 時間出入庫自由の県営有料駐車場と、月極駐車専用の県営第二有料駐車場を運営しました。

なお、両駐車場の管理運営については、平成 28 年 4 月から指定管理者が行っています。

○利用台数

平成 30 年度の県営有料駐車場の普通駐車と定期駐車を合わせた利用台数は、219,738 台（対前年度比 105.5%）となりました。

また、収容台数 37 台の県営第二有料駐車場の各月契約台数合計は 424 台（対前年度比 96.4%）となりました。

（単位：台、%）

（単位：台、%）

	県営有料駐車場				県営第二有料駐車場		
	平成29年度	平成30年度	対前年度比		平成29年度	平成30年度	対前年度比
4月	16,067	16,867	105.0	4月	37	36	97.3
5月	17,500	17,267	98.7	5月	37	35	94.6
6月	16,812	17,735	105.5	6月	37	34	91.9
7月	18,559	18,969	102.2	7月	37	34	91.9
8月	17,894	18,570	103.8	8月	35	34	97.1
9月	16,847	18,015	106.9	9月	36	34	94.4
10月	17,265	17,953	104.0	10月	36	34	94.4
11月	17,247	18,589	107.8	11月	37	35	94.6
12月	19,436	20,417	105.0	12月	37	37	100.0
1月	16,792	18,097	107.8	1月	37	37	100.0
2月	15,911	17,169	107.9	2月	37	37	100.0
3月	18,051	20,090	111.3	3月	37	37	100.0
合計	208,381	219,738	105.5	合計	440	424	96.4

○経営の状況

事業収益は、営業収益が 1 億 2,353 万円（対前年度比 104.9%）、営業外収益が 139 万円（対前年度比 17.2%）、その他特別利益が 350 万円（対前年度比 543.4%）で、総収益は 1 億 2,842 万円（対前年度比 101.6%）となりました。

事業費用は、営業費用が 5,127 万円（対前年度比 122.7%）、営業外費用が 26 万円（皆増）、特別損失が 4,288 万円（皆増）で、合計 9,442 万円（対前年度比 225.9%）となっており、事業収支では 3,401 万円の純利益を生じています。

○損益計算書(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

(単位:千円)

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
営業費用	51,270	営業収益	123,530
(1)有料駐車場	51,270	(1)雑収益	1,670
		(2)納付金	121,860
営業利益	72,261		
営業外費用	261	営業外収益	1,389
(1)雑支出	261	(1)受入利息	245
		(2)雑収益	53
		(3)長期前受金戻入	1,092
経常利益	73,389		
特別損失	42,885	特別利益	3,502
(1)災害による損失	42,885	(1)その他特別利益	3,502
当年度純利益	34,007		
前年度繰越利益剰余金	0		
その他未処分利益剰余金変動額	0		
当年度未処分利益剰余金	34,007		

(注)本表は消費税及び地方消費税抜きの数値。

○貸借対照表(平成31年3月31日現在)

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 及 び 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
1 固 定 資 産		3 固 定 負 債	
(1) 有 形 固 定 資 産		(1) 引 当 金	
イ 有 料 駐 車 場 設 備	2,141,439	イ 退 職 給 与 引 当 金	12,547
減 価 償 却 累 計 額	▲ 613,671	ロ 修 繕 準 備 引 当 金	13,182
有 形 固 定 資 産 合 計	1,527,768	固 定 負 債 合 計	25,729
(2) 無 形 固 定 資 産			
イ 有 料 駐 車 場 設 備	148	4 流 動 負 債	
無 形 固 定 資 産 合 計	148	(1) 未 払 費 用	220
固 定 資 産 合 計	1,527,916	(2) 預 り 金	408
		(3) 引 当 金	480
		流 動 負 債 合 計	1,108
2 流 動 資 産			
(1) 現 金 預 金	1,077,533		
(2) 未 収 金	34,514	5 繰 延 収 益	
流 動 資 産 合 計	1,112,047	(1) 長 期 前 受 金	
		イ 長 期 前 受 金	74,590
		ロ 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額	▲ 47,559
		長 期 前 受 金 合 計	27,031
		繰 延 収 益 合 計	27,031
		負 債 合 計	53,868
		6 資 本 金	
		(1) 自 己 資 本 金	1,788,766
		資 本 金 合 計	1,788,766
		7 剰 余 金	
		(1) 資 本 剰 余 金	
		イ 受 贈 財 産 評 価 額	73
		資 本 剰 余 金 合 計	73
		(2) 利 益 剰 余 金	
		イ 利 益 積 立 金	246,642
		ロ 建 設 改 良 積 立 金	431,981
		ハ 地 域 振 興 積 立 金	84,627
		二 当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	34,007
		利 益 剰 余 金 合 計	797,257
		剰 余 金 合 計	797,330
		資 本 合 計	2,586,095
資 産 合 計	2,639,963	負 債 資 本 合 計	2,639,963

(注)本表は消費税及び地方消費税抜きの数値。

○予算の執行状況

収益的収支

(単位:千円、%)

科 目	平成29年度	平成30年度		(C)／(B)	前年度比 (C)／(A)
	税込決算額(A)	予算額(B)	税込決算額(C)		
事業収益	128,150	128,698	132,271	102.8	103.2
営業収益	117,876	122,808	123,664	100.7	104.9
営業外収益	9,578	1,890	5,105	270.1	53.3
特別利益	696	4,000	3,502	87.6	503.2
事業費	42,059	106,579	98,264	92.2	233.6
営業費用	42,059	57,264	51,949	90.7	123.5
特別損失		46,315	46,315	100.0	—
予備費		3,000		0.0	—
差 引	86,091	22,119	34,007	153.7	39.5

資本的収支

(単位:千円、%)

科 目	平成29年度	平成30年度		(C)／(B)	前年度比 (C)／(A)
	税込決算額(A)	予算額(B)	税込決算額(C)		
資本的収入	0			—	—
資本的支出	19,772			—	0.0
建設改良費	19,772			—	0.0
予備費				—	—
差 引	▲ 19,772	0	0	—	0.0

令和元年度上半期の状況

○予算の状況

令和元年度上半期における予算の補正はありません。

(単位:千円)

区分	科目	当初予算額	6月補正予算額	9月補正予算額	計
収益的収入	事業収益				
	営業収益	125,342			125,342
収益的収入	営業外収益	3,906			3,906
	計	129,248			129,248
収益的支出	事業費				
	営業費用	80,155			80,155
収益的支出	営業外費用	3,000			3,000
	予備費	3,000			3,000
	計	86,155			86,155
資本的収入	資本的収入				
	資本的収入	0			0
資本的収入	計	0			0
	資本的支出				
資本的支出	繰出金	200,000			200,000
	計	200,000			200,000

4 病院事業

平成 30 年度（2018 年度）決算の概要

○事業の概要

病院事業では、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第 19 条の 7 に基づき、県が設置を義務付けられている精神科病院として、「熊本県立こころの医療センター」を運営しています。

本県唯一の県立病院である「こころの医療センター」は、地域に開かれた医療を行うとともに、アルコール・薬物等の依存症や、重大な犯罪を犯した精神障がい者等、民間病院等では対応が困難な患者の治療を担うなど、本県の精神科医療のセーフティネットの役割を果たしています。また、患者の社会生活に向けた支援や、児童・思春期医療といった政策的・先導的な医療にも取り組んでいます。

平成 29 年度（2017 年度）には、平成 30 年度（2018 年度）～平成 35 年度（2023 年度）を計画期間とする「第 3 次中期経営計画」を策定し、「入院医療中心から地域生活中心へ」という国の政策の方向性を踏まえつつ、県立の精神科医療機関として、当センターが今後進むべき方向性や計画期間中の目標を示しました。また、平成 30 年（2018 年）2 月に児童・思春期専用病床として「思春期ユニット」を開設しました。

○患者の状況

平成 30 年度（2018 年度）は、年間延べ入院患者数 39,917 人、年間延べ外来患者数 26,135 人で、前年度に比べて、入院患者数は 1,869 人の減、外来患者数は 1,036 人の減となりました。

（単位：人）

病院の名称	病床数	項目	平成29年度 (A)	平成30年度 (B)	比較増減 (B) - (A)
こころの医療センター	200床 (運用 150床)	取扱患者数	68,957	66,052	▲2,905
		入院患者数	41,786	39,917	▲1,869
		外来患者数	27,171	26,135	▲1,036

○経営の状況

事業収益は、医業収益が 7 億 7,833 万円（対前年度比 100.7%）、医業外収益が 8 億 8,548 万円（対前年度比 112.3%）で、総収益は 16 億 6,623 万円（対前年度比 106.7%）となりました。

事業費用は、医業費用が、15 億 7,345 万円（対前年度比 108.5%）、医業外費用 6,170 万円（対前年度比 90.8%）で、総費用 16 億 3,819 万円（対前年度比 107.9%）となり、事業収支では 2,804 万円（対前年度比 65.0%）の純利益を生じています。

資本的支出では、空調設備改修設計を行いました。

○損益計算書（平成30年4月1日から平成31年3月31日まで）

（単位：千円）

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
2 医業費用	1,573,454	1 医業収益	778,335
(1) 給与費	1,055,562	(1) 入院収益	612,057
(2) 材料費	62,518	(2) 外来収益	162,307
(3) 経費	301,903	(3) その他医業収益	3,971
(4) 減価償却費	144,836		
(5) 資産減耗費	203		
(6) 研究研修費	8,433		
営業損失	795,119		
4 医業外費用	61,704	3 医業外収益	885,477
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	61,673	(1) 受取利息	621
(2) 雑損失	31	(2) 一般会計負担金	856,301
		(3) 長期前受金戻入	16,274
		(4) その他医業外収益	12,281
経常利益	28,654		
6 特別損失	3,031	5 特別利益	2,413
当年度純利益	28,036		
前年度繰越欠損金	195,834		
当年度未処理欠損金	167,798		

○貸借対照表（平成31年3月31日現在）

（単位：千円）

資 産 の 部		負 債 及 び 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
1 固定資産		3 固定負債	
(1) 有形固定資産		(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,717,911
イ土地	283,279	(2) リース債務	69,034
ロ建物	5,318,521	(3) 退職給付引当金	385,208
減価償却累計額	▲ 2,527,150	(4) 修繕引当金	116,242
ハ構築物	522,230	固定負債合計	2,288,394
減価償却累計額	▲ 361,101	4 流動負債	
ニ器械備品	340,333	(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	225,632
減価償却累計額	▲ 285,838	(2) リース債務	17,625
ホ車輛	21,194	(3) 未払金	170,359
減価償却累計額	▲ 18,642	(4) 預り金	9,854
ヘリース資産	88,128	(5) 賞与引当金	57,619
減価償却累計額	▲ 1,469	(6) その他流動負債	
有形固定資産合計	3,379,486	流動負債合計	481,089
(2) 無形固定資産		5 繰延収益	
イ電話加入権	241	長期前受金	864,727
無形固定資産合計	241	収益化累計額	▲ 451,840
固定資産合計	3,379,727	繰延収益合計	412,886
		負 債 合 計	3,182,370
2 流動資産		6 資本金	2,089,987
(1) 現金預金	1,773,179	7 剰余金	
(2) 未収金	115,768	(1) 利益剰余金	
(3) 貯蔵品	7,905	イ減債積立金	172,019
(4) その他流動資産		ロ当年度未処理欠損金	167,798
流動資産合計	1,896,852	利益剰余金合計	4,222
		剰余金合計	4,222
		資 本 合 計	2,094,208
資 産 合 計	5,276,578	負 債 資 本 合 計	5,276,578

○予算の執行状況

収益的収支

(単位：千円、%)

科 目	平成29年度 決算額(A)	平成30年度		(C)／(B)	前年度比 (C)／(A)
		予算額(B)	決算額(C)		
病院事業収益	1,561,448	1,664,700	1,666,225	100.1	106.7
医業収益	772,712	782,067	778,335	99.5	100.7
医業外収益	788,736	882,633	885,477	100.3	112.3
特別利益	0	0	2,413	—	—
病院事業費用	1,518,282	1,663,869	1,638,189	98.5	107.9
医業費用	1,450,291	1,602,046	1,573,454	98.2	108.5
医業外費用	67,991	61,773	61,704	99.9	90.8
予備費	0	50	0	0.0	—
特別損失	0	0	3,031	—	—
差 引	43,166	831	28,036	3,373.8	65.0

資本的収支

(単位：千円、%)

科 目	平成29年度 決算額(A)	平成30年度		(C)／(B)	前年度比 (C)／(A)
		予算額(B)	決算額(C)		
資本的収入					
一般会計負担金					
資本的支出	392,684	317,492	249,106	78.5	63.4
建設改良費	179,879	98,369	29,984	30.5	16.7
企業債償還金	212,804	219,123	219,122	100.0	103.0
差 引	▲ 392,684	▲ 317,492	▲ 249,106	78.5	63.4

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額249,106千円は、全額、内部留保資金で補てんしました。

令和元年度（2019年度）上半期の状況

○予算の状況

令和元年度（2019年度）上半期における予算の補正はありません。

